

18歳までの 医療費無料化を

Q



中谷真裕美議員

長期化するコロナ禍で、子育て世帯の苦労は多岐にわたる。給付金などと合わせ、恒常的な子育て支援策として、現在は中学卒業までとなっている医療費無料の年齢を、18歳までに引き上げることが求めたい。近隣の普通寺市や琴平町では既に実施され、大変喜ばれているが、市の見解は。



安心して子育てできる環境を

A

市長 医療費の無料化拡大は、子育て世帯の経済的負担を軽減し、少子化対策にもつながると認識している。18歳までの医療費無料化には、安定した財源の確保が不可

欠である。現段階では実施は難しい状況であるが、機会をとらえ、県に対しても、県の子ども医療費助成制度の拡充を要望していきたい。



QRコード

ぜひご覧ください。

バーコードリーダー対応のスマートフォンなどで撮影すると、動画が流れます。



1. スマートフォンでQRコードを読み取ります。

バーコードに対応しているスマートフォンでバーコードリーダーを起動し、QRコードを撮影します。

2. URLや情報が表示されます。

表示されたアドレスをクリックすると、議員の質問を動画で見ることができます。

機種によって異なります。

詳しい使用方法は、ご利用のスマートフォンの取扱説明書等をご確認ください。

9月定例会

質疑

住居確保給付金

Q 守家議員 住居確保給付金事業費の概要は。

A 健康福祉部長 休業等による収入の減少から、離職・廃業と同程度に困窮し、住居を失うおそれのある人を対象に、家賃相当額を給付する。就職活動を要件に、期間は3か

月、延長により最長9か月（令和2年度申請分は最長12か月）までとする。

キヤツシユレス
ポイント還元事業

Q 中谷議員 当初予算を上回る7億3千万円の増額理由は。

A 産業文化部長 7月の実施状況から、全体事業費として予想される不足額を増額

補正する。事業の性格上、確定額は実施後となる。

公共交通支援

Q 渡邊議員 バス事業者は1路線30万円、タクシー事業者は1台5万円の補助であるが、この事業の効果は。

A 都市整備部長 運行継続に必要な車両の維持管理や感染防止用設備の設置、消毒等のコロナ対策に活用し、安全・安心な乗車環境の整備に役立てられると考えている。



生活には欠かせません

討論

議案第59号

《反対》

理由

横川 重行

●アレルギー対応給食を必要とする人数の把握や民間委託した場合の改善点等が不明瞭であり、総括ができていない。子どもの命にも関わる問題であり、熟考すべき。

中谷真裕美

●アレルギー対応給食を民間委託する根拠は、職員の数や配置の問題でなく、対応給食の充実であるべき。

質疑・討論
請願・審査

請願審査結果

請願第1号

●キヤツシユレス決済ポイント還元事業に上限がないことで、他事業への影響がないよう努めるべき。

国に対し「75歳以上の医療費窓口負担2割化の実施を行わないよう求める意見書」の提出を求める請願

丸亀市政を考える会

津田 勲

請願の趣旨

年収200万円以上の高齢者

人事案件

れ、誰もが安心できる医療体制や社会保障を守るべき。

●議会の意見・審査結果
不採択

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

▼人権擁護委員候補者

- | | |
|-----|-------|
| 郡家町 | 松野 幸子 |
| 垂水町 | 鈴木紀美江 |
| 綾歌町 | 白杵 實 |
| 田村町 | 松本 好史 |
| 飯山町 | 香川 静則 |

市長へ提言書

5日間の決算特別委員会での審議をもとに、議会としての決算提言を取りまとめたものです。令和4年度予算に反映するよう求めました。



市民からの意見をまちづくりに

内容(抜粋)

人材

将来を見据えたまちづくりに
は、何よりも人材が欠かせない。
効果的な研修等を行う中
で、多様な人材の確保・育成に
努め、限られた人材の有益な活
用に当たりたい。

コロナ対策

新型コロナウイルス感染症対
策については、PCR検査やワ
クチン接種等、確実な実施と併
せて、引き続き国・県の動向や
他自治体の取り組み等を注視し
ながら、時宜を得た施策を講じ
るよう、市民の安心・安全の確
保に万全を期されたい。

環境

ゼロカーボンシティ宣言都市
として、住宅用太陽光発電や蓄
電システムの設置など、再生可
能エネルギーの導入に係る予算
を拡充するとともに、脱炭素社
会を目指し、環境施策のさらなる
推進に努められたい。

地域

少子高齢化や核家族化の進展
に伴い、迷惑空き家へのさらなる
対策が求められる。空き家対策
の現状に鑑み、老朽危険空き家
除却支援事業補助金制度の継
続的な実施などにより、引き続き
地域の住環境の向上に尽力され
たい。

消防

市民の命を守るため、市域全
体の消防力の強化が求められ
る。離島からの救急搬送体制な
ど、人員体制の充実・強化に努
め、消防力向上を図られたい。

教育

学校生活において、子どもた
ちに寄り添い、抱える不安や悩
みなど、複雑・多様化する事案
の解決に当たり、スクールソー
シャルワーカーの存在は極めて
重要である。本市の現状を踏ま
え、当該増員に努められたい。

委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。

教育民生委員会

■審査した議案

議案第59号の関係部分、
60号、62号、68号、請願
第1号

主な質疑

Q委員 子ども・子育て支援補助金は昨年度も実施しているが、今年度の内容は。

A健康福祉部 コロナ禍での子育て支援のため、事業者に対し、感染防止用品などの費用を補助するもので、昨年度は空気清浄機や体温計などの備品整備を、今年度は消毒液やマスクなどの消耗品の購入を想定している。

Q委員 飯山南保育所汚水中継槽の移設は、設備の老朽化だけ

でなく、国道438号線の整備による道路の嵩上げの影響もあると考えるが、全て市の負担となるのか。

A教育部 中讃土木事務所との協議では、国道整備に関連したマンホールの嵩上げは対象となるが、本移設は対象外であると確認している。

Q委員 無償譲渡するはらだこども園の建物の状況と、今後の改修内容は。

A教育部 築年数46年から48年の建物であり、設備は古くなっているが、躯体自体は問題ない。譲渡先の誠心会では、トイレや床・天井などの修繕を検討しているが、今後、協議しながら進めていく。

審査結果

原案可決
請願不採択

都市環境委員会

■審査した議案

議案第59号の関係部分、
63号、65号、67号、69号

主な質疑

Q委員 旧庁舎南館解体工事に関する契約金額の積算根拠は。

A都市整備部 追加契約となる工事の設計金額に、原契約時の請負比率を掛けた金額により、仮契約を締結した。

Q委員 しわく丸の現状と、無償貸し付け期間終了後の方針は。

A市民生活部 今後の維持管理費などを検討した結果、新船を造船する方が経費削減につながると判断した。新船の建造は、備讃フェリー(株)が独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機



委員会審査



生活航路「～広島・小手島・手島～」

構(JRTT)の技術支援を受けながら進めていく予定である。

Q委員 キャッシュレス決済ポイント還元事業は財政調整基金を財源としているが、今後の認識は。

A産業文化部 地域経済の活性化と市内小売店の売り上げ増加を目的として、コロナ緊急経済対策特別定額給付金事業と併せて実施している。事業者からの利用状況の報告などを検証し、財政面も十分に踏まえながら進めていく。

審査結果

原案可決